

KM1700/KM750

Professional 1700/750-Watt Stereo Power Amplifier with
ATR (Accelerated Transient Response)

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

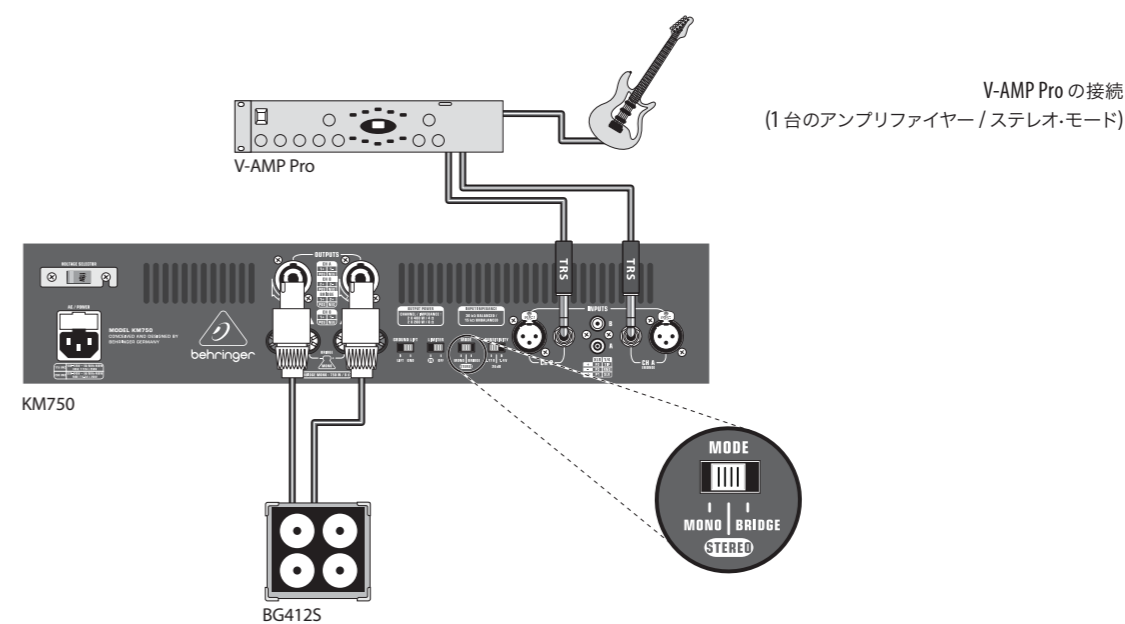
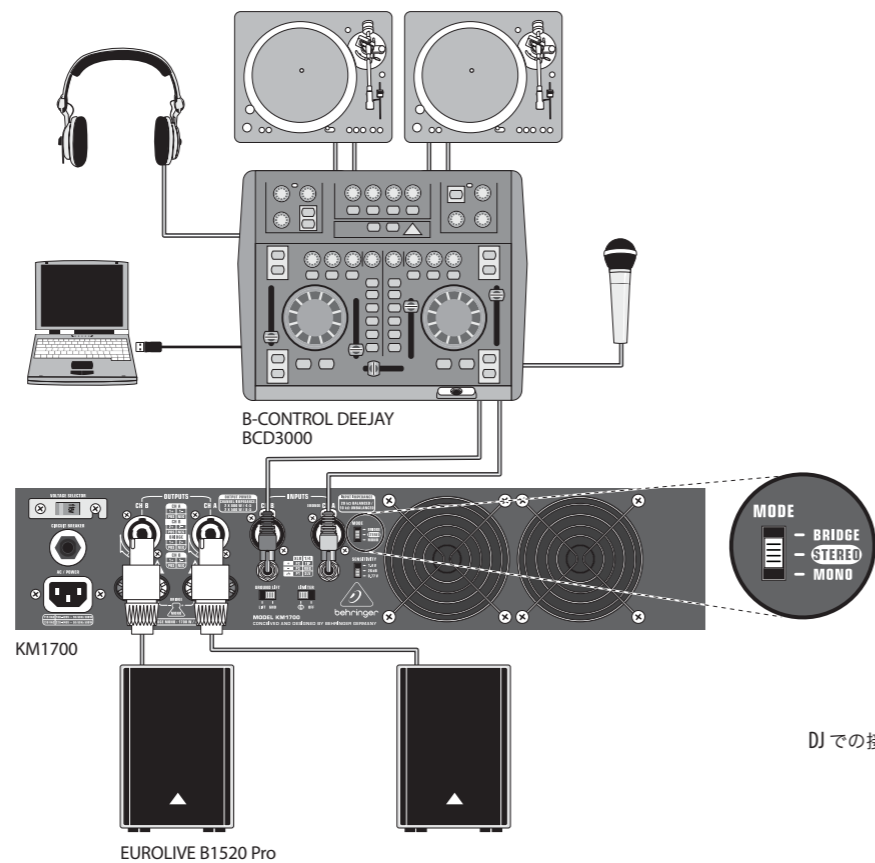
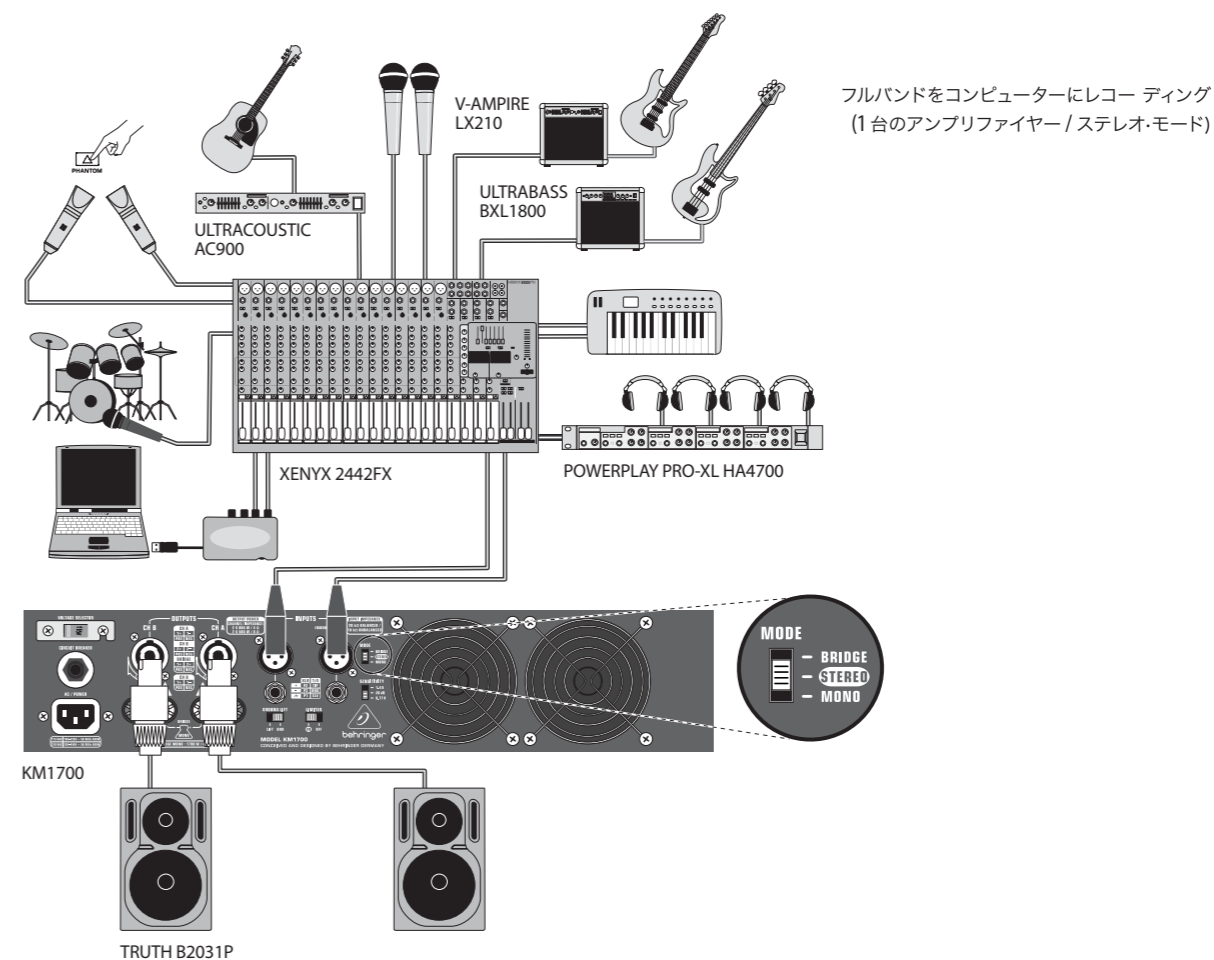
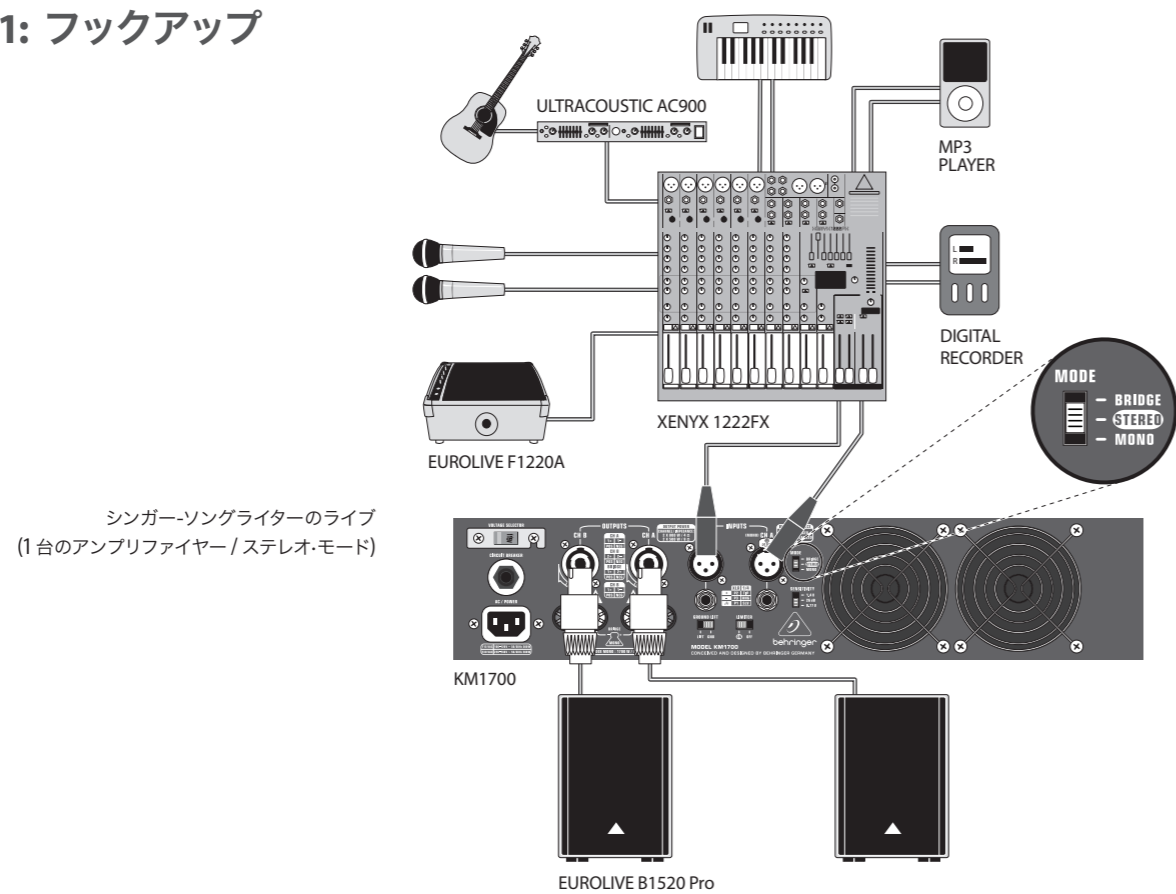
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

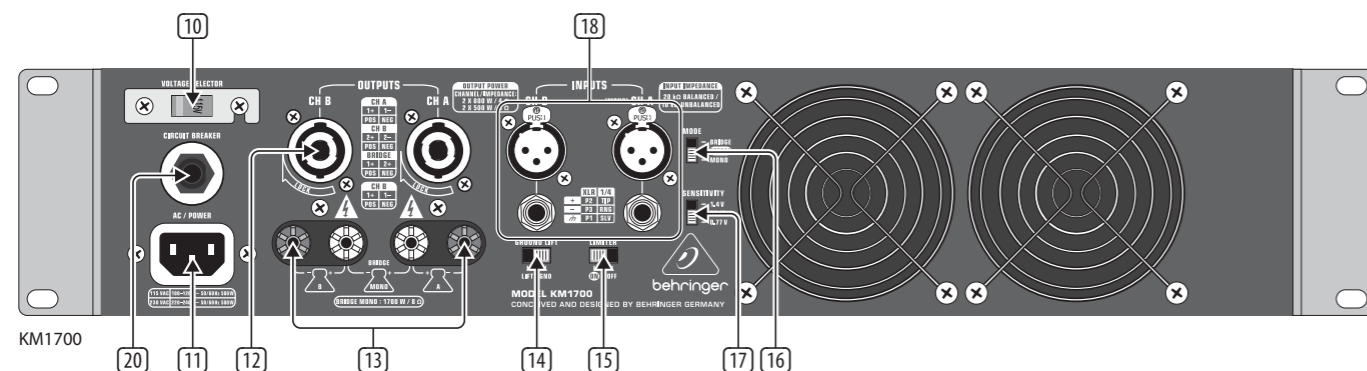
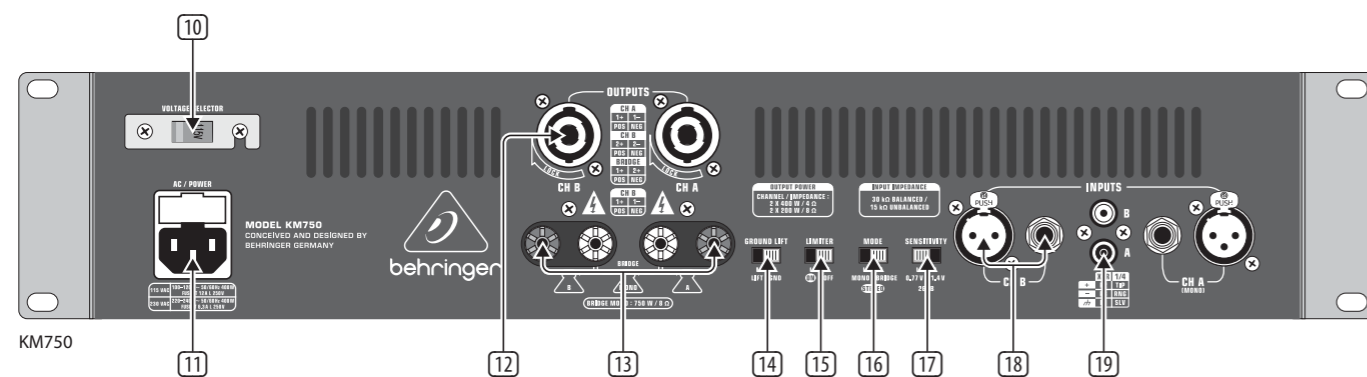
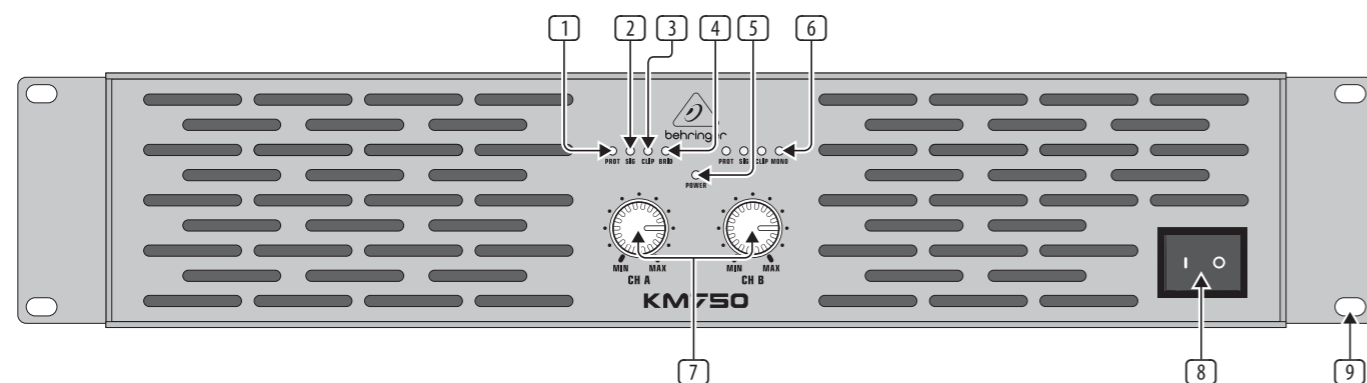
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

KM1700/KM750 フックアップ

ステップ 1: フックアップ



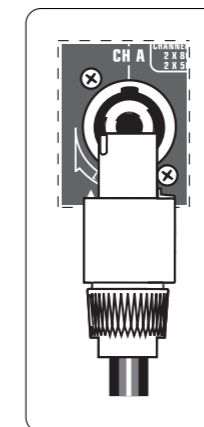
KM1700/KM750 コントロール



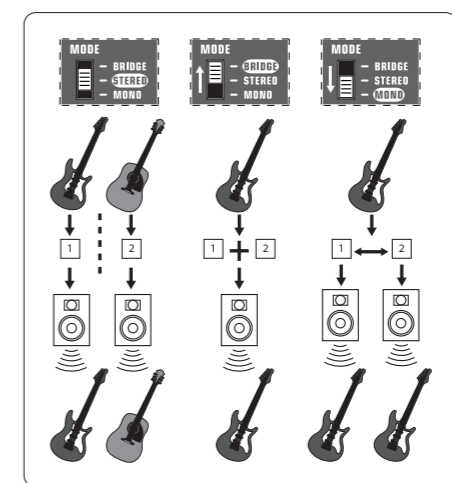
ステップ 2: コントロール

- 1 **PROTECTION** (保護) アンプリファアの温度が 90°C 以上になると、アンプリファアの機能が不安定になるのを避けるため、過熱保護モードに入り、本 LED が点灯します。
- 2 **SIG** LED 対応するチャンネル入力に、信号が存在する時に点灯します。
- 3 **CLIP** LED (クリップ LED) 出力信号がアンプリファアのクリーン ヘッドルーム キャパシティを超えると点灯します。アンプリファアを使用する際は通常、CLIP LED は時折点灯しても、継続的に点灯しないよう設定してください。CLIP LED が継続点灯する場合は出力レベルを下げてください。
- 4 **BRID** LED (ブリッジ LED) アンプリファア背面の MODE スイッチを、BRIDGE モードに設定している時に点灯します。
- 5 **POWER** LED (電源 LED) アンプリファアの電源がオンになっていると点灯します。
- 6 **MONO** LED (モノラル LED) アンプリファア背面の MODE スイッチを、MONO モードに設定している時に点灯します。
- 7 **CH A/CH B** コントロールこれらのノブを使って入力レベルを調節します。ゲインを上げるには時計方向に、ゲインを下げるにはノブを反時計方向に回します。
- 8 **POWER** ボタン / LED このボタンでアンプリファア電源をオン / オフします。
- 9 4本の付属ネジとワッシャを使って本体をラックに固定します (ドライバーは付属していません)。2 ラックスペースを必要とします。
- 10 **VOLTAGE SELECTOR** (電圧セレクター) アンプリファアを、ご使用になる地域の電力システムに適合させるためのセレクターです。このスイッチの設定が、お住まいのエリアの電圧に合っているかどうかをお確かめください。不明な場合は電気技師にご相談ください。
- 11 **AC/POWER** (AC/電源ジャック) 付属の IEC 電源ケーブルを接続します。

- 12 回転ロック式スピーカー出力—回転ロックプラグ付きのプロフェッショナル用スピーカーケーブルを使って、アンプリファアをスピーカーに接続します。



- 13 バインディングポスト出力 スピーカーケーブルを裸線接続します。
- 14 **GROUND LIFT** (接地リフト) 接地ループによるハムノイズを低減するスイッチです。位置を LIFT (リフト) にセットしている時は、接地ループを除去するため、入力信号の遮蔽/接地と、パワーアンプハウジングの電気接続を遮断します。通常は、本スイッチの位置は GND にします。
- 15 **LIMITER** (リミッタースイッチ) 内蔵リミッターを有効にします。
- 16 **MODE** (モードスイッチ) モノラル、ステレオ、およびブリッジの 3 つの動作モードを切り替えます。



- 17 **SENSITIVITY** (感度) アンプリファアの定格出力に対する入力感度を調節します。0.77 V, 26 dB と 1.4 V の設定のいずれかを選択します。複数の KM アンプをご使用の場合は、すべてのアンプリファアの出力を等しくするため、26 dB に設定してください。
- 18 入力 バランス XLR、バランス 1/4 インチ TRS、またはアンバランス 1/4 インチ TS コネクターで、ラインレベル入力信号を接続します。
- 19 **RCA** 入力 (KM750のみ) RCA コネクターで、アンバランス ラインレベル信号を入力します。
- 20 **BREAKER** (自動ヒューズ, KM1700 のみ)。問題が発生してブレーカーが自動遮断したら、まず問題を取り除き、その後このボタンを押してアンプを再び動作させることが出来ます。従来のヒューズの代わりに果たすものです。

ブレーカーの注意事項: もしブレーカーが作動した場合、ブレーカーをリセットする前に以下の作業を行ってください。

- AC メインケーブルを抜いてください。
- 電源スイッチの位置を "OFF" (オフ) にします。
- すべての入力ゲインコントロールを下げてください。
- ブレーカーをリセットして本体に電源を接続します。そして電源ボタンを ON にして、ゲインを任意のボリュームまでゆっくりと上げてください。

KM1700/KM750 はじめに

ステップ 3: はじめに

- 1 アンプリファイヤーと音源の電源が OFF になっていることを確認します。
- 2 すべての CH A/CH B コントロールを完全に反時計方向へいっぱい位置に設定します。
- 3 音源 (ミキサー、CD プレイヤー、コンピューター) の電源を入れます。
- 4 電源スイッチの位置を "on" にします。
- 5 お使いの音源の出力レベルを設定します。
- 6 CH A/CH B ツマミで、入力レベルを調節します。
- 7 もし CLIP LED が頻繁に点灯する場合は、CH A/CH B コントロールを CLIP LED がまれにしか点灯しなくなるまで下げます。このレベル設定により、信号の強さとアンプのヘッドルームの間で最適なバランスを得ることができます。

KM1700/KM750 バイアンプ

ステップ 4: バイアンプ

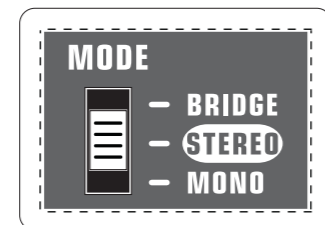
バイアンプ方式では、信号を高周波数帯と低周波数帯に分割し、それぞれの周波数帯を別のスピーカー・キャビネットへと割り当てます。サブウーファーは通常低周波数帯を受け持ちます。信号をこのような方法で分割することで、スピーカーはより効率的に働き、全体としてよりクリアなサウンドを得ることができます。

水平バイアンプ方式

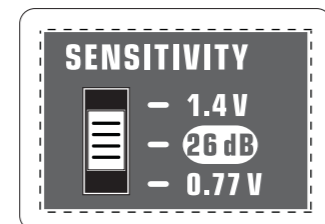
水平バイアンプ方式では、iNUKE アンプ1台で高周波を処理し、別の iNUKE アンプで低周波を扱います。

KMアンプリファアーは、信号を各周波数帯に分離しそれぞれを独立で拡声するためには、別途クロスオーバーユニットが必要です。アクティブクロスオーバーを使用すると、モノラル信号を高周波数帯と低周波数帯に分離できます。この2つの信号を、その後2台のアンプにそれぞれ接続すれば、LF(低域用)アンプリファアーで低域を、HF(高域用)アンプリファアーで高域を扱うことができます。

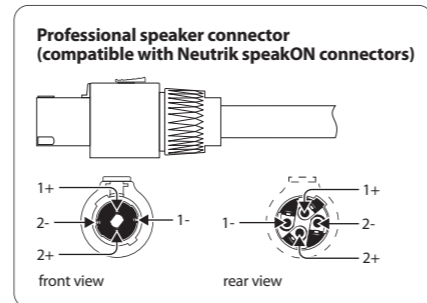
- 1 外部クロスオーバー機器を、ステレオ信号を 100Hz 近辺で低周波数帯および、中/高周波数帯に分割するように設定します。
- 2 クロスオーバーからの中高域信号を HF アンプリファアーの CH A および CH B に入力します。
- 3 クロスオーバーからの低域信号を LF アンプリファアーの CH A および CH B に入力します。
- 4 両アンプリファアーのモード・スイッチの位置を「ステレオ (STEREO)」にします。



- 5 両方のアンプで、SENSITIVITY (感度) スイッチを 26 dB の位置に合わせ、各アンプリファアーの出力が等しくなるようにします。



- 6 プロ用ツイストロック・コネクターの4極スピーカー・ケーブルを、各アンプの CH A 出力から、コネクタ・ディストリビューション・パネルへ接続します。各アンプリファアーの A および B チャンネルが、1本のケーブルで一緒にルーティングされます。



- 7 HF アンプの CH A 出力 (1+/1-) からディストリビューション・パネル左側出力の 1+/1- ピンへ、HF アンプの CH B 出力 (2+/2-) からパネル右側出力の 1+/1- ピンにルーティングされるようディストリビューション・パネルを配線します。

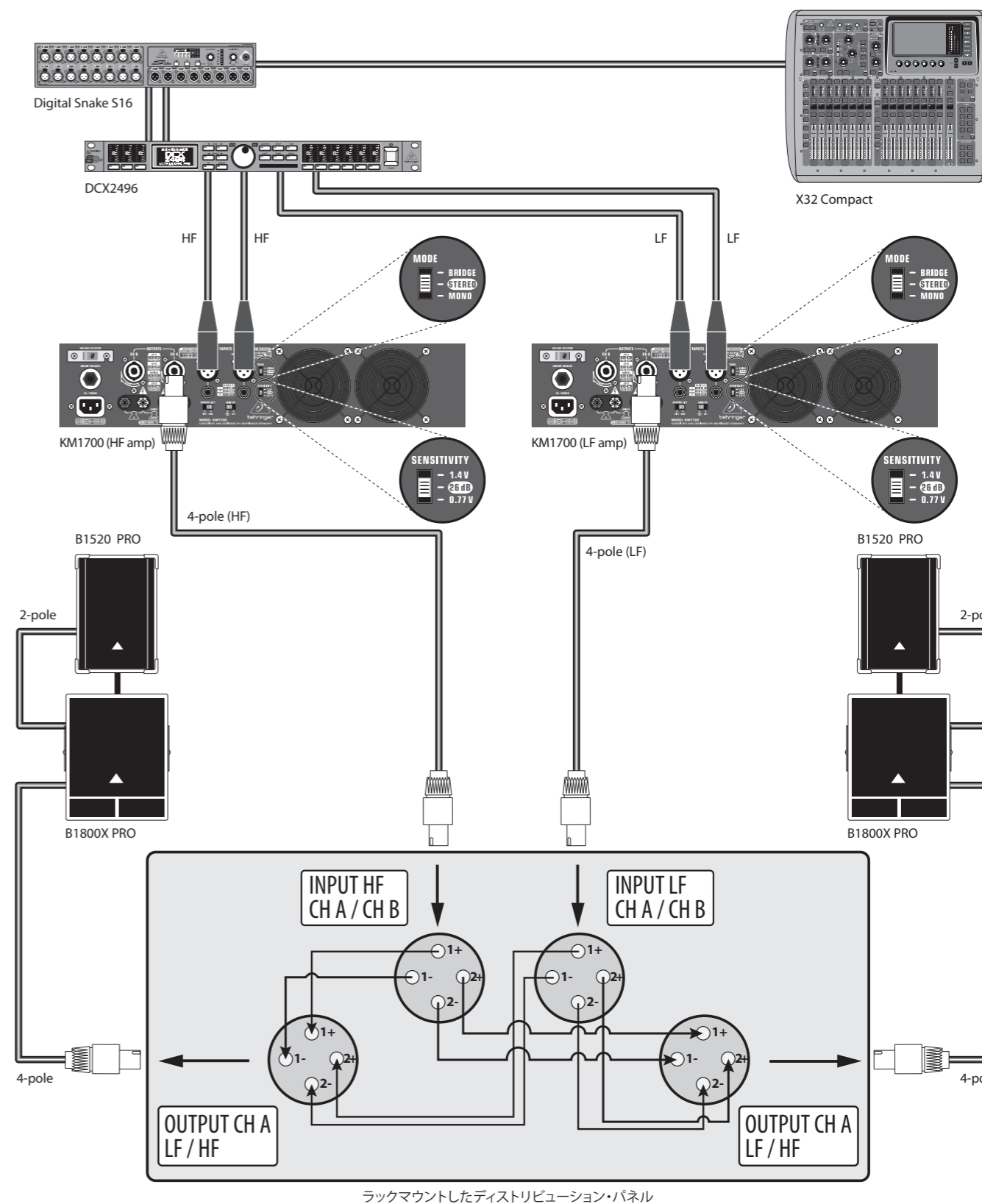
- 8 同様に、LF アンプの CH A 出力 (1+/1-) をパネル左側出力の 2+/2- ピンに、LF アンプの CH B 出力 (2+/2-) を、ディストリビューション・パネル右側出力の 2+/2- ピンにルーティングします。

- 9 4極ケーブルでディストリビューション・ラックの出力端子とサブウーファーを配線します。各4極ケーブルの 1+/1- ピンに HF アンプ信号、2+/2- ピンに LF アンプ信号が伝送されます。

- 10 サブウーファーをバイアンプ・モード (BIAMPING) にします。2+/2- ピンの LF アンプ信号がサブウーファーに、1+/1- ピンの HF アンプ信号はサブウーファーを通過して出力ジャックへ伝送されます。

- 11 2極スピーカー・ケーブルをサブウーファーの出力ジャックから、中/高周波用スピーカーへ接続します。1+/1- ピンの HF アンプ信号で中/高周波用スピーカーが駆動されます。

注意: お使いのサブウーファーが 1+/1- ピンのみで動作する場合、ディストリビューション・パネルを使用せず、サブウーファーを直接アンプリファアーに接続できます。この場合、各アンプリファアーのステレオサイドにつき2極ケーブルを2本ずつ使用します。一方のアンプを中/高周波用スピーカーに、もう一方のアンプをサブウーファーに接続します。



ラックマウントしたディストリビューション・パネル

水平バイアンプ方式

KM1700/KM750 バイアンプ

ステップ 4: バイアンプ

垂直バイアンプ方式

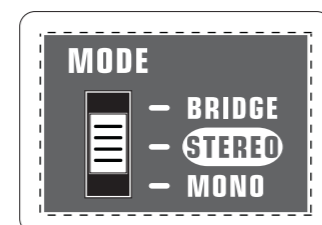
垂直バイアンプ方式は、各ステレオサイドにつきアンプリファァー1台を接続します。外部クロスオーバー機器で、オリジナル信号を、低周波信号と中/高域周波信号に分割し、それぞれを別々に増幅します。

1 外部クロスオーバー機器を、ステレオ信号を 100Hz 近辺で低周波数帯および、中/高周波数帯に分割するように設定します。

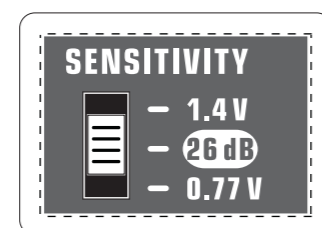
2 クロスオーバーからの中高域信号を、各アンプリファァーの CHA に入力します。

3 クロスオーバーからの低域信号を、各アンプリファァーの CHB に入力します。

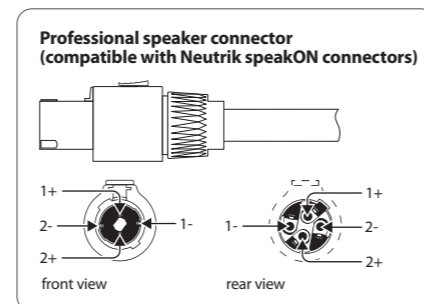
4 両アンプリファァーのモード・スイッチの位置を「ステレオ (STEREO)」にします。



5 両方のアンプで、SENSITIVITY (感度) スイッチを 26 dB の位置に合わせ、各アンプリファァーの出力が等しくなるようにします。

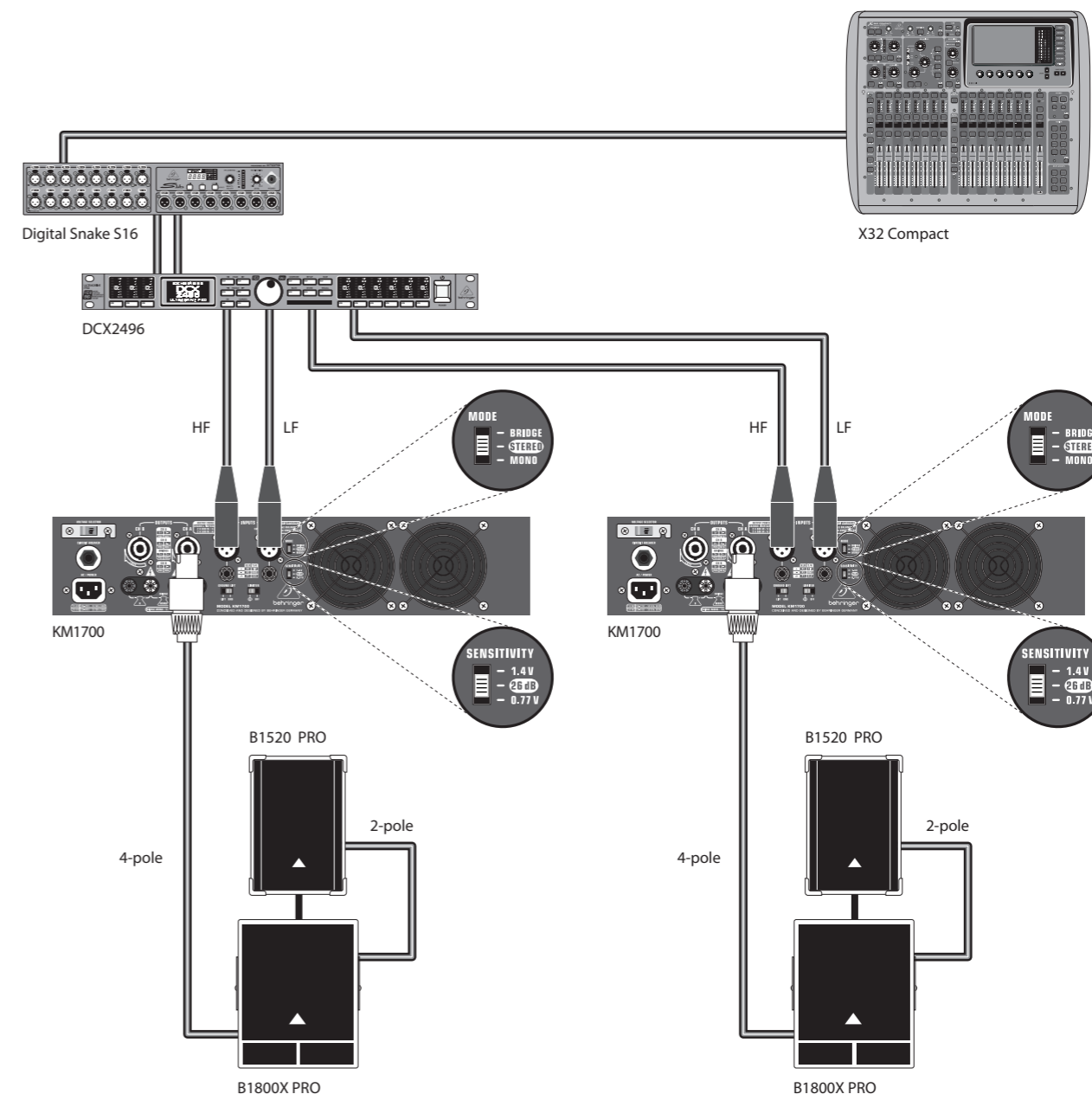


6 各アンプの CHA 出力から、ツイストロック式プロ用 4 極スピーカー・ケーブルを使ってそれぞれ左右のサブウーファァーへ接続します。



7 サブウーファァーを「バイアンプ (BIAMPING)」モードにします。

8 サブウーファァーから、ツイストロック式プロ用 2 極スピーカー・ケーブルを中/高周波用スピーカーに接続します。



垂直バイアンプ方式

JP 技術仕様

	KM1700	KM750
出力電力		
最大出力電力*		
チャンネルあたり 8Ω, 両方のチャンネルが駆動	500 W	200 W
チャンネルあたり 4Ω, 両方のチャンネルが駆動	800 W	400 W
8Ω, ブリッジモード	1700 W	750 W
コネクタ		
入力	2 x XLR 2 x ¼" TRS	2 x XLR 2 x ¼" TRS 2 x RCA
入力インピーダンス		
XLR / ¼" TRS	20 kΩ, 平衡型 / 10 kΩ, 不平衡型	30 kΩ, 平衡型 / 15 kΩ, 不平衡型
RCA	-	14 kΩ, 不平衡
出力	2 x ロックスタイルのプロフェッショナルスピーカーコネクタ, バインディングポスト	
システム		
出力回路タイプ	クラスH, 相補線形出力	クラスAB, 相補線形出力
回路保護	短絡電流, DC 障害, AC ヒューズ, リミッター, サーマルカット	
歪み (8Ω @ 50% 最大出力)	<0.03%	<0.02%
ダンピングファクター	>120 @ 8Ω	>245 @ 8Ω
周波数応答 (定格出力電力より-10 dB 低い)	20 Hz ~ 20 kHz, +0 / -0.5 dB	
周波数応答 (@ -3 dB)	10 Hz ~ 80 kHz	
信号対雑音比	> 100 dB (重み付けなし, 20 Hz ~ 20 kHz)	
電圧ゲイン @ レベル制御最大	35.6 dB	32 dB
入力感度 @ レベルコントロール最大	0.77 V / 26 dB / 1.4 V, 切り替え可能	
コントロール		
フロント	電源スイッチ, レベル control	
リア	感度, リミッター, アース / リフト, モードスイッチ	
指標		
力	白色 LED	
信号	緑色の LED	
クリップ	赤色 LED	
保護	黄色の LED	
モノモード	黄色の LED	
ブリッジモード	黄色の LED	
電源、電圧 (ヒューズ)		
アメリカ / カナダ	120 V~, 60 Hz	120 V~, 60 Hz (T 12 A H 250 V)
英国 / オーストラリア / ヨーロッパ	220-240 V~, 50/60 Hz	220-240 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
韓国 / 中国	220-240 V~, 50/60 Hz	220-240 V~, 50/60 Hz (T 6.3 A H 250 V)
日本	100 V~, 50/60 Hz	100 V~, 50/60 Hz (T 12 A H 250 V)
消費電力 @ ½ 定格電力	500 W	400 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
寸法 / 重量		
寸法 (H x W x D)	88 x 482 x 375 mm (3.5 x 19.0 x 14.8")	88 x 482 x 317 mm (3.5 x 19.0 x 12.5")
重量	12.5 kg (27.5 lbs)	8.5 kg (18.7 lbs)

*リミッターとドライバー保護回路に依存しない

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You